

# 台風被害の公共施設の復旧計画は



渡辺 俊彦



町長

早期の再開に向け、復旧に努める

**質問** 台風19号により被害を受けた玉村グラウンド・ゴルフ場、烏川河川玉村運動場と板井根石公園の復旧計画はどうか。

**答弁** 教育長 玉村グラウンド・ゴルフ場の復旧は、泥や流木等の撤去、倒木の除去を行い、除草剤の散布を計画している。西コースについては、来年1月7日から利用できるよう作業を進めている。

烏川河川玉村運動場は、堆積した泥や碎石の撤去及び掘削後に山砂を入れる計画であり、年度内の再開を目指している。

**答弁** 町長 板井根石公園については、野球グラウンドに堆積した泥の掘削、山砂の充填・整地を計画している。全ての施設について早期の利用再開ができるよう、復旧に努める。

**質問** 河川敷内には表土が流され、耕作不能状態の畑も見受けられる。復旧支援はあるか。

**答弁** 町長 表土の復旧についての支援はない。

**答弁** 経済産業課長 開発等で不要な表土が出れば、表土が流された農家に話をする。

**質問** 災害対策本部から住民への情報伝達は適切であったか。

**答弁** 町長 避難情報の伝達については、区長・民生委員、メルたまやホームページ等、現在使える全てのツールを活用して実施したが、情報弱者の方への伝達は完璧ではなかったと考えている。

## 来年度のふるさとまつり、花火大会の予定は

**質問** 今年ふるさとまつりは趣向を変えて実施されたが、必ずしもよい評価をいただけていないようだ。来年度の実施方法と予算は。

**答弁** 町長 「ふるさとまつり検討委員会」での意見を踏まえ、ふるさとまつりと祇園



祇園祭と分離していく予定のふるさとまつり

祭を別事業として捉え、分離していくこととなった。来年度は同時開催となるが、警備費等はふるさとまつり実行委員会と上下新田地区で折半し、各丁目の活動費については減額等を予定している。

**質問** 多くの人が楽しみにしている花火大会の開催は。

**答弁** 町長 東京オリンピック等の開催による影響で、警備員の確保が困難な状況であり、来年の花火大会は休止する決定をした。

# 金婚式の復活を望む



柳沢 浩一



総務課長

必要性や費用対効果等を含め研究



復活が望まれるダイヤモンド婚・金婚祝式典

**質問** 平成29年度を最後に惜しまれながらも廃止、事業停止になってしまったダイヤモンド婚・金婚祝式典は、多くの町民から惜しむ声が寄せられている。

**答弁** 町長 ダイヤモンド婚・金婚祝式典については、対象者が限定的であるため、対象とならない方から不公平などの意見もあり、また式典に欠席される方も多かった。

町財政の健全化を目指す中で、緊急度・重要度・費用対効果等を検討し、平成30年度から廃止した。

**質問** 近隣で実施している自治体はどのくらいあるか。

**答弁** 健康福祉課長 近隣では、藤岡市・昭和村・大泉町・太田市などがある。

**質問** 事業費は50万円ほどであり、費用対効果は高い事業だ。

**答弁** 総務課長 来年度予算の編成作業の中で、全ての事務事業について見直しをしていかなければならないと考えている。必要性や費用対効果等を含めて研究したい。

## 職員の能力向上をどう図るか

**質問** 町職員の能力は高く、町民への対応力も優れていると確信しているが、人口減少

問題への取り組みや多岐にわたる仕事内容を踏まえると、一層のスキルアップを図るべきだと考える。職員研修の現状は。

**答弁** 町長 町村会による新入職員研修、入職2年目の職員を対象とした県・市町村職員との合同研修、中堅職員を対象とした政策立案の基礎的な考え方の研修に参加させている。

また、新任の係長や課長になった職員には、監督者として必要な知識を学ぶための研修に参加させている。そのほか、個別の職務に関する専門研修などにも参加させている。

**質問** 職員提案制度の現状は。形骸化しているのではないか。

**答弁** 町長 平成22年度以降、活用されていないのが現状である。業務量の増加などにより、時間が取れない状況があると考えている。